

会員各位

一般社団法人 日本建築学会  
情報システム技術委員会／設計・生産の情報化小委員会  
設計・生産の情報化実態調査WG  
主査 山極 邦之

## 「第17回建築CAD・BIM利用実態調査」アンケートご協力のお願い

時下ますますのご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本会の活動等にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本日お送りいたしましたのは日本建築学会、情報システム技術委員会、設計・生産の情報化小委員会です。当小委員会は1985年からほぼ2年ごとに実施しており、今回で17回目です。これまでの調査の際は皆様方から多くのご回答を頂くことができました。大変感謝いたしております。

第1回調査の当時、ハードは大型汎用コンピュータが主流で、ミニコンやワークステーションがようやく実用化し、パソコンは黎明期にありました。その後、インターネットなどの通信技術の進展を伴い、コンピュータは業務だけでなく、家庭でも日常的に活用する道具になりました。さらに近年のタブレットやスマートフォンの普及によって屋外でのコンピュータ利用が普通になり、昨今はAR、AI、IoTなどが注目を集めています。これらの情報通信技術の進展は、私たちの生活や仕事に大きな影響を与えています。

当小委員会は建築設計におけるICT活用のために役立つ先端情報や実情の調査、およびその結果の会員への提供を続けてきました。当調査では、近年BIMやクラウド化についての問を拡充させる改訂を行うなど、それまでの継続性を維持しつつ、時勢に応じた質問を追加する改訂を行っております。こうした調査を継続的に行うことも小委員会の一つの使命であり、調査結果が建築設計を中心とするICTの利用実態を正しく伝え、建築業界やハード・ソフトメーカー、サービス会社に対して有益な情報となることを望んでいます。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただきアンケートにご協力いただければ幸いです。調査結果は、2019年2月19日開催の当小委員会主催「BIMの日2019シンポジウム」および当学会のホームページにて公表いたします。ご協力をお願いいたします。

なお本書は当学会法人会員の通信者宛（一社で複数の会員登録がある場合にはそのうちの一会員）にお送りさせていただきました。別紙1のアンケート内容をご覧いただき、ご回答いただける適任の方（複数の事業所がある場合は、適切な1事業所の方）へご転送頂けますようお願いいたします。

アンケートは下記ホームページ上からもオンラインでご回答いただけます。

<http://www.aij.or.jp/>（日本建築学会の日本語トップページ）——>お知らせ欄  
「第17回建築CAD・BIM利用実態調査」ご協力のお願い”から入ってください。

もしホームページ上から回答いただけない場合は、誠に恐縮ですが、別紙1に直接ご記入のうえ、学会事務局まで郵送またはFAXにて送付頂ければ幸いです。

ご多忙中とは存じますが、1月10日(木)までにご回答いただきたく何卒ご協力をお願い申し上げます。

本件に関してご質問などがございました場合は、下記Eメールにお問い合わせください。  
設計・生産の情報化実態調査WG 主査：山極 邦之 / [cad-bim@aij.or.jp](mailto:cad-bim@aij.or.jp)

【同封物】 別紙1：第17回建築CAD・BIM利用実態調査 アンケート内容  
別紙2：第17回建築CAD・BIM利用実態調査 記入要領

【事務局担当】 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20  
(一社)日本建築学会 事業グループ 伏見朋枝  
TEL.03-3456-2057 FAX.03-3456-2058